

# Aomori Port Office Mail Magazine — Vol.2

~Autumn~

## ■神秘の湖・十和田湖は、全国から観光客が押し寄せる国内有数の紅葉スポット

青森県は全土の約66%を森林で占められ広葉樹林も多いため、秋の紅葉の名所はたくさん。その中で最も人気のある紅葉スポットは、青森県の南部に位置する「十和田八幡平国立公園」に属する十和田湖と、そこから流れ出る奥入瀬溪流です。

十和田湖は、透明度の高さやその自然の美しさなどから神秘の湖と称され、全国から毎年、大勢の観光客が訪れます。標高400mの山上にたたずむ二重カルデラ湖で湖の最深部は327m、わが国にある湖の中では第3位の深さです。

周囲の外輪山の樹木は秋になると、赤・黄に染まります。湖の周りの要所には展望台が点在し、また、湖畔の一部には遊歩道が整備され、光り輝く湖面を見ながらの散策が楽しめます。さらに、遊覧船も運航されているので、湖上からも色鮮やかな風景が楽しめます。



## ■奥入瀬溪流には自然散策の遊歩道が整備、全行程 14km は軽装でOK！

十和田湖から流れ出るのが奥入瀬溪流です。その流れは 14km にわたって続き、遊歩道が整備されているため、気軽に各名所のポイントで散策することが出来ます。溪流全体が深い自然林で覆われているため、紅葉を楽しみながらの森林浴には最適。気温の寒暖差が大きいので、樹木の赤はいつそう赤く、黄色もいつそう鮮やかに黄色く色づきます。

溪流の緩やかな水の流れは、時には激しく時には渦巻くなど、いろいろな表情を見せていきます。

全行程の標高差があまりない穏やかな道のりなので、軽装での散策も大丈夫です。



## ■秋の味覚と言えば生産量日本一のリンゴ、味覚も話題も盛りだくさん

青森県の秋の味覚と言えば、日本一の生産量を誇るリンゴです。

そのリンゴは、生食はもちろんですが、ジュースやジャム、お菓子、リンゴ酢、リンゴ酒など、いろんな加工品にもお目にかかれます。

最近では、全国のりんごで生産量トップを誇り“リンゴの街”を自負する弘前市で、市内菓子店の独自のアップルパイを紹介するガイドマップも配布されています。日本のリンゴの樹は欧米のものとは違い背が低く実が手の届く位置にも生っているため、季節によって受粉や収穫などの農業体験や絞り染め体験やりんごを使った製作体験など、“リンゴ王国・青森県”で、食べるだけではない楽しみ方でリンゴを味わいませんか。

